

先生方からのメッセージ

5月13日(水)

担当	先生からのメッセージ
1年1組 担任	<p>皆さん元気に過ごしていますか?「ステイホーム」と毎日のように言われ続けている世の中なので、家で見ることも多くなっているテレビ番組について少し話をしたいと思います。社会科の勉強では、実はテレビ番組が大活躍します。ニュースでは政治や経済について、クイズ番組では歴史や地理に関する出題されることが多く出題されますし、歴史上の人物を紹介する番組も数多く放送されています。それらの番組を見て、「面白い」「調べてみたい」と思うこともあるのではないのでしょうか。興味をもつことが社会科の勉強の第一歩です。社会科の勉強になると思って、テレビを活用してみませんか。最後におすすめの番組を紹介したいと思います。大河ドラマ「麒麟がくる」、「池上彰のニュースそうだったのか」、「くりいむクイズ ミラクル9」、「Qさま」。まだまだありますが、間違いないのはこのあたりでしょうか。興味のある方は是非見てみてください。</p>
ひまわり 学級担任	<p>中学時代の勉強方法。テスト一週間前に文房具屋に行って購入する。B4サイズの藁半紙100枚(今は藁半紙などという紙を知る人は少ない。)金額は1枚1円合計100円。次に黒と赤のボールペン4本ずつ計8本(当時ボールペン1本50円)合計400円。総計500円で勉強の始まり。</p> <p>「ともかく書く」覚たい英単語・重要語句・実験の手順etc…。黒と赤のボールペンを使って白いところが見えなくなるまで「書く」作業をする。</p> <p>両面使うと200枚分のB4サイズの内紙を使い切ることになる。ただし、書き切れないときもある。ボールペンの減りが少ないときもある。</p> <p>その量はその時々での考査の成績のバロメーターとなった。書き切れたり、ボールペンのインクがなくなったりすると成績が良かったような気がした。自分自身にも使い切ったという充実感も生まれた。効率の悪い勉強方法かもしれない。しかし、「書く」作業をすると「手が覚える」ことがある。英単語や漢字など最初の部分が出てくると「手が自然」に動いていくことがあった。</p> <p>さあ現代の中学生。何でもいい。始めてみよう。</p>

読書のすすめ

担当	メッセージ（読書の良さ・お勧めの本など）
2年1組担任	<p>小学生の頃、学校の図書室や学校の近くにあった公民館でたくさん本を借りて読みました。</p> <p>中学生になると、今のような読書の時間は無く、部活動も忙しく、ほとんど読書をする時間がとれませんでした。今になって、あの頃もっともっと本を読んで世界を広げられると良かったなとつくづく思います。</p> <p>大人になってから出会った本ですが、中学生で読むのにもちょうど良いおすすめの本を紹介したいと思います。</p> <p>『妖怪アパートの幽雅な日常』『僕とおじいちゃんと魔法の塔』</p> <p>どちらも、香月日輪さんの本です。登場人物が魅力的で、とても面白いだけでなく、人生の大切なことについても考えさせられる内容でもあります。</p> <p>ぜひ読んでみて下さい。</p>